

# 特集 たけはら魅力再発見

Vol. 1

今月号から、隔月の特集企画として、竹原市の自然・伝統・文化を守る人々に取組やその魅力についてお話しいたできます。

第1回目となる今回は、黒滝山の登山道や各施設などの環境整備を行っているボランティア団体「黒滝山を愛する会」の会長、濱川博行さんにお話を伺いました。



黒滝山を愛する会

はまかわ ひろゆき  
会長 濱川 博行さん

## ●黒滝山を愛する会を設立したきっかけ

黒滝山は忠海町のシンボルとして昔から地域住民に愛されてきました。この忠海のシンボル黒滝山を地域全体で大切にしたいという思いから、アヲハタ株式会社の社長であった廿日出多真夫さんがアトム株式会社の社長であった細田勲次さんとともに「黒滝山を愛する会」の創設を先導しました。その2人の先達は「黒滝山を愛する会」を全忠海町民によるボランティア組織と位置付け、全ての町民に参加を呼びかけて、昭和62年11月に設立しました。

## ●町のシンボルとして後世に残していきたい

これまで多くの先人達が、黒滝山を町のシンボルとして後世に残そうと活動されて34年が過ぎました。長年の間、会に御尽力いただいた廿日出多真夫さん、細田勲次さんそして株式会社タクボ精機製作所の社長だった田窪定雄さんの功績を称えて、令和3年6月に黒滝山さくら堂付近に顕彰碑が建立されました。そこには、皆で考えた「山を愛し、町を愛し、人を愛す」と刻んでいます。これからも、この言葉のように黒滝山の美化、整備にあたっていこうと思います。現在、会員の減少や高齢化等の課題がありますが、黒滝山が大好きで山を守っていきたくて、仲間と一緒に楽しく元気に活動したいと思っています。

## ●ぜひ、黒滝山に登ってみてください

黒滝山は忠海駅から近く、直ぐ登れるという数少ない山です。標高266メートルで黒滝山さくら堂から頂上まで20分から30分くらいで登れます。また黒滝山には観音堂、33体の石仏、そして「幸福の鳥居」があり、この鳥居をくぐると、幸福が訪れるといわれています。登山道や山頂からの景色は大久野島、芸予諸島などの島々が一望できて素晴らしいです。

忠海に来られたらぜひ、黒滝山に登ってみてください。



## 黒滝山を愛する会

昭和62年11月に結成。黒滝山を大切にしたいという思いから全忠海町民によるボランティア組織として「黒滝山を愛する会」を設立しました。月1回程度、黒滝山の整備・美化を行っています。



▲毎月、登山道の整備、枯松の伐採、トイレの清掃や草刈りなどの活動を行っています。5月には松のみどり摘みも行いました。



▲幸福の鳥居